

野球を通して学んだ事

朝桜中学校 一年 T・T

僕が一番熱中している事、それは「野球」です。小学校三年生から野球を始めて5年目。その野球というスポーツを通して、二つの大きな事を学びました。

一つ目は、「自分一人の力では、なにも出来ない」と言う事です。野球は九人でするスポーツです。僕は小学校六年生の時、キャプテンで主にピッチャーをしていました。最初のころは、自分が投げて相手を0点に抑え、自分がホームランを打てば試合は勝てると思っていました。しかし、試合を重ねる度に、自分一人の力では限界がある事、自分一人では勝てない事を学んでいきました。

そんな時、自分の持つている以上のパワーやエネルギーを与えてくれたのが、グラウンドでプレーをしている九人の仲間を始め、応援してくれているチームメイトやかんとく、コーチでした。走塁の時に大声を出し、大きく手を回して「ゴー」や「ストップ」など教えてくれるランナーコーチ。ベンチから声を切らす事なく応援し続けてくれる下級生たち。自分が困った時や悩んだ時に、的確な指示を出してくれるかんとくや、コーチ。それらの人全てがまとまって一つのチームとなり戦う事が出来たのです。

また、二つ目は当たり前前の様に野球が出来ることに対する「感謝の気持ち」です。

大好きな野球を何の心配もせず続けられる環境を作ってくれている両親をはじめ、僕の周りの人達には、本当に感謝しています。

母は、試合や練習からの帰宅後、ユニフォームの洗たくや、早起きでのお弁当作りをしてくれます。父は、仕事が早く終わった日にはバッティングセンターへ連れていってくれて、自分の悪い所をチエックしてくれたり、キャッチボールの相手をしてくれます。

また、野球の保護者会の人達も、遠くまでの送迎など、色々助けてくれました。家族や周りの人達の協力があったからこそ野球ができる。

野球が出来て当たり前だと思っていた自分の気持ちが変わっていき
ました。

そしてこの四月から朝桜中学校に入学し、部活動はもちろん野球
部に入部しました。

一年生はまだ柔軟体操や走り込み、雨の日にはろう下をぞうきん
ダッシュなど、試合にも出れず基礎トレーニングの毎日です。今ま
でやってなかった分、つらくて時には逃げ出したい時もありますが、
同じつらさを分かち合う新しい仲間ができた事や、それ以上に、休
憩時間のチームメイトとの会話には、笑いもあつてとても楽しんで
います。

先輩からの、「一年生さぼるなよ」という言葉の中にも「うまくな
りたければ、努力をおしむな」という思いが込められているのが伝
わり、「つらくても負けられないな」という気持ちになります。

今のチームメイトと一緒に、つらい時期を乗り切れば、来年、再
来年、自分達が試合でプレーできる様になった時、「これだけやった
んだから大丈夫だ」と気持ちも楽になり、自信を持ってプレーする
事が出来ると思います。今は、「体力と忍耐力を身につける大事な時
期なんだ」と自分に言い聞かせてがんばっています。

これからも、「感謝の気持ち」を忘れずにチームメイトと、共に協
力、共に努力、共に助け合つて、すべての事に対して、ベストをつ
くしていこうと思います。

平成二十年度

東近江市青少年育成市民会議蒲生支部主催

青少年の主張大会

東近江市立朝桜中学校学年代表 作文より